

臨床精神医学

Japanese Journal of Clinical Psychiatry [Jpn J Clin Psychiatry]

Vol.48 No.3 March 2019

3

特集●精神医学と芸術の多様な接点

- 精神医学史がアートになるとき
- アートを含みこむ精神医療とは
- 現代の「アール・ブリュット」と日本の作品
- アール・ブリュットの芸術哲学
- 「狂乱の場」：オペラにおける精神疾患の表現
- 精神医学・精神疾患を描く文学・マンガ
- 外からみた病跡学
- アート表現に認められる自閉スペクトラム特性—創造性の源泉として—
- マティス・フェルムューレン—音楽的狂信者のサルトグラフィ—
- 精神医学的にみた漱石文学—神経衰弱者の擁護と救済—
- 神経美学は病跡学に取って代わるか？
- 精神科臨床における芸術療法—臨床アートセラピーの立場から—
- 米国のアートセラピーにおけるアセスメントの特徴—投影描画法との比較から—
- 芸術療法：その近接領域としての保育—乳幼児期の発達を保障する芸術活動—